

来月開院 川崎医科大学医療センター

# 壁面アートが完成

福祉大生有志制作 温かみある大木表現

12月1日の開院を控えた川崎医科大学総合医療センター（岡山市北区中山下）に7日、川崎医療福祉大（倉敷市松島）の学生有志が制作した壁面アートが完成した。地下2階の通路の壁にオリジナルのシールを貼り、葉の茂った大木を表現。淡い色合いで統一され、温かみのある作品に仕上がっている。



川崎医科大学総合医療センターの通路に完成した壁面アート

28人が手掛けた。8月、設中の同センターを訪れた深柢小学校の跡地に建った際、南側に整備さ

れた「深柢ガーデン」のシンボル・クスノキが小学校時代から地域住民に愛されてきたことを聞き、デザインを考案した。

壁面アートは縦約2・5メートル、横約25メートル。「おもいよをのせる」をテーマ

に、太さ1メートルほどの幹から伸びた枝に、緑、黄、青など色とりどりの葉っぱ約300枚をちりばめている。

木の周りには9羽の鳥も配し、生命力を表現している。この日、最後の1枚となるオレンジ

色の葉を貼り付けた。地下2階の駐車場から院内に通じる場所があり、4年戸山穂乃香さん(22)は「治療に向き合う勇気を届けられれば」と話した。

(鈴木省吾)